

104-15

問題文

母乳中で二量体として存在し、乳児の感染防御を担う免疫グロブリンはどれか。1つ選べ。

1. IgA
2. IgD
3. IgE
4. IgG
5. IgM

解答

1

解説

ポイントは『免疫は**GAMDE**』です。「免疫はガムで」と何度か声に出すと覚えやすいかもしれません。（それぞれ、IgG,IgA,IgM,IgD,IgE のこと。）この順番に、割合が多いです。

Ig とは、immunoglobulin の略です。免疫グロブリンというタンパク質です。抗体の実体が免疫グロブリンです。Ig は、Y字型のタンパク質です。定常部（下の棒線部分＋上の先っぽ以外）と可変部（上の先っぽ部分）からなります。G、A、M、D、E というクラスの違いは『定常部』の構造の違いによる分類です。それぞれの免疫グロブリンの特徴で憶えておいた方がよい点を、以下列挙します。

- ・免疫反応において、まず分布される免疫グロブリン、すなわち、「**First 分布**」が「**M**」です。
- ・IgMの次に分布される「**Second 分布**」が「**G**」です。
- ・**IgG** の特徴として憶えておきたい点が、**胎盤通過** できるということです。
- ・**初乳** に含まれ、乳児の感染防御を担うのが「**A**」です。
- ・「**E**」の特徴は2点です。1点目は、**割合が小さく極微量** であることです。もう1点は、**アレルギー反応** において重要な役割を担う点です。

「母乳中に含まれ、乳児の感染防御を担う」のは IgA です。従って、正解は 1 です。

類題（ほぼ同問題）